

第5回 シンポジウム

生物物理学の新展開

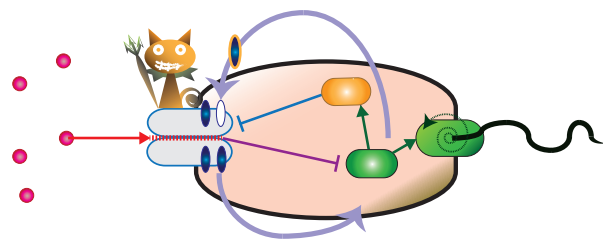
2019年 4月 26日 (金) 16:50-18:30

東京大学本郷キャンパス 理学部1号館 279号室

東京都文京区本郷 7-3-1 最寄駅：丸ノ内線 大江戸線 本郷三丁目駅、南北線 東大前駅、千代田線 根津駅

生物は物質で構成されている。したがって物理学を駆使して、生物やその根源にある生命を理解することができるはずである。この立場に立ち、生物物理学は、生命現象を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物・生命を捉える。さらに実験と理論の両アプローチから、生物・生命の普遍的理解を目指す学問である。

近年の技術革新などによって新展開を見せている
生物物理学研究の面白さを、
学部生にもわかりやすく解説します。



岡田 康志 物理学を用いて生物を理解する

柳澤 実穂 人工細胞の物理的記述から生命の理解を目指して

澤井 哲 普遍的な生命単位「細胞」

— その形態と動きを記述する基礎方程式はあるか？

伊藤 創祐 生体内での情報と熱の物理法則

参加無料 学部生歓迎 終了後に懇親会あり

